

平成30年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成30年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

1 支払状況

平成30年度の支払人数は43,095人、支払額は17,274百万円余となっています。前年度と比較すると、支払人数で176人の増(0.4%増)、支払額で250百万円の増(1.4%増)と、いずれも増加

しています(図1)。

1人当たりの平均支払額については401千円となっており、前年度と比べると、4千円の増加となっています(図2)。最近に見られる増加傾向については、勤務年数が長期化していること(図4にて後述)がその要因のひとつとして考えられます。



図1 支払人数と金額(直近5か年)

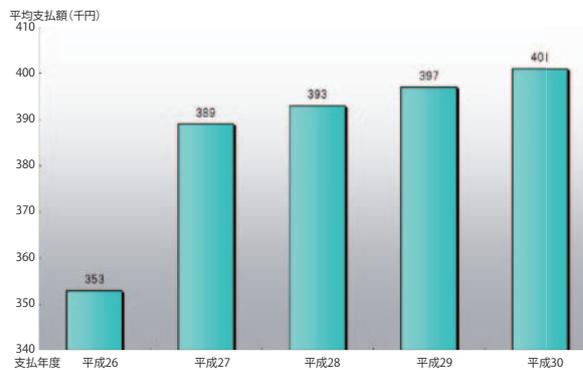


図2 平均支払額(最近5か年)

2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の15,033人(34.9%)が最も多く、続いて「班長」の9,583人(22.2%)、「部長」の8,566人(19.9%)

の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の77.0%を占めています(図3)。階級別ごとの支払人数に変化はあまり見られません。

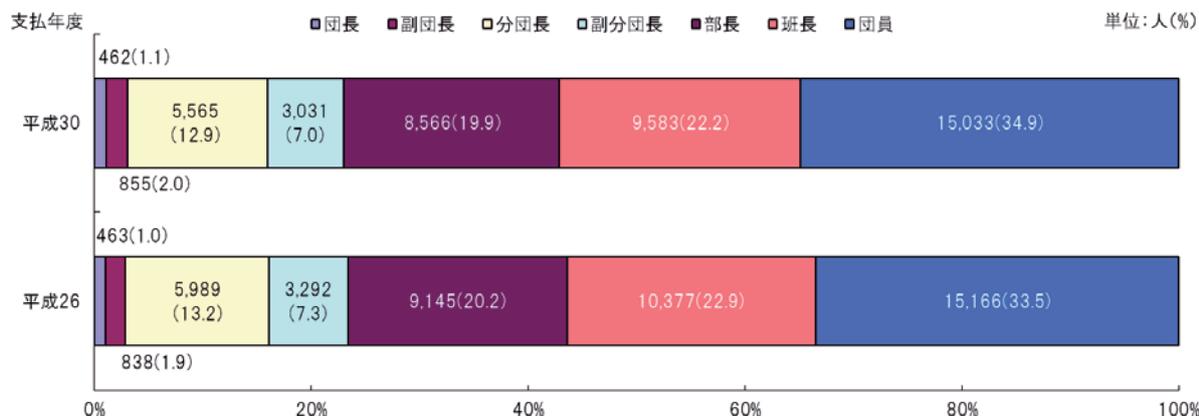


図3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の10,552人(24.5%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の8,833人(20.5%)、「15年以上20年未満」の7,374人(17.1%)の順となっており、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の

62.1%を占めています(図4)。平成26年度と比べると、20年未満が減少傾向であるのに対し、20年以上は増加傾向にあり、勤務年数が長期化する傾向が見受けられます。

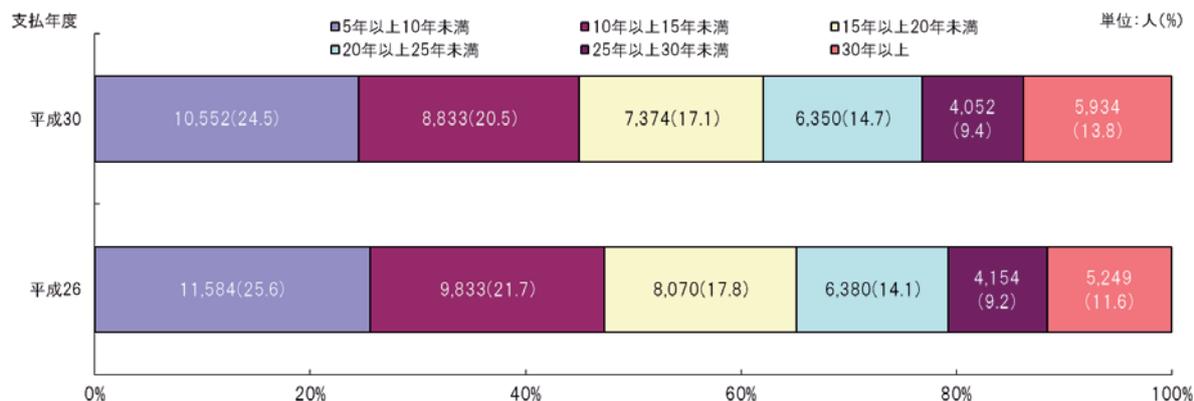


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(注)では、「過年度退職者」の30,835人(71.6%)に対し、「現年度退職者」は12,260人(28.4%)となっています(図5)。平成

26年度と比較すると、現年度支払人数の割合は小さくなっており、過年度支払人数の割合が大きくなっています。

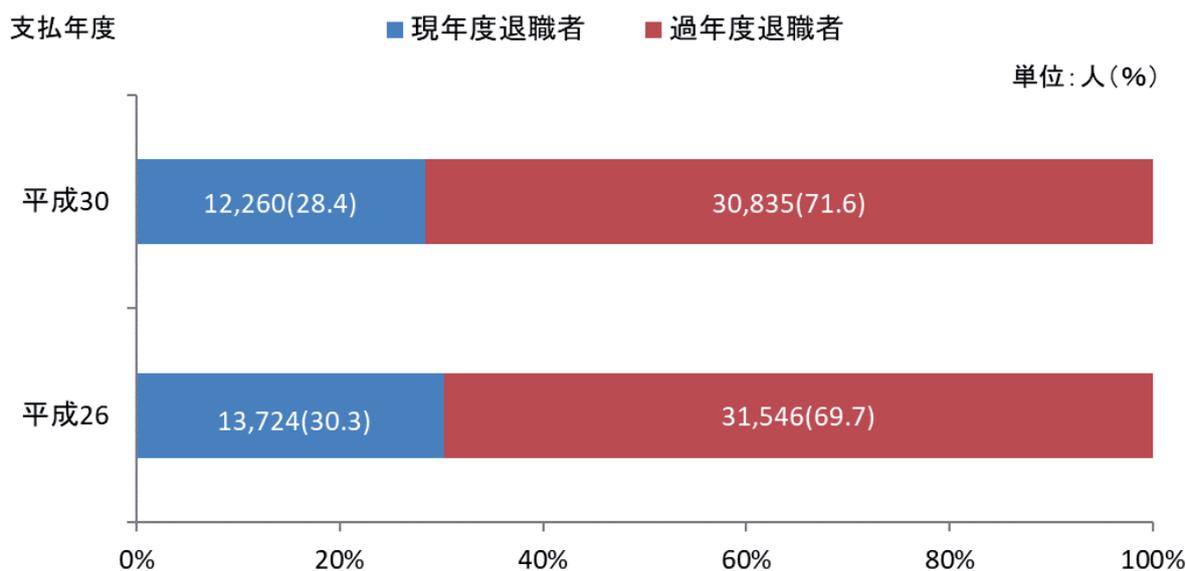


図5 現年度・過年度別支払人数

3 支払額

支払額についてみると、階級別では、「団員」の4,180百万円(24.2%)が最も多く、続いて「部長」の3,691百万円(21.4%)、「班長」の3,573百万

円(20.7%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の約3分の2を占めています(図6)。

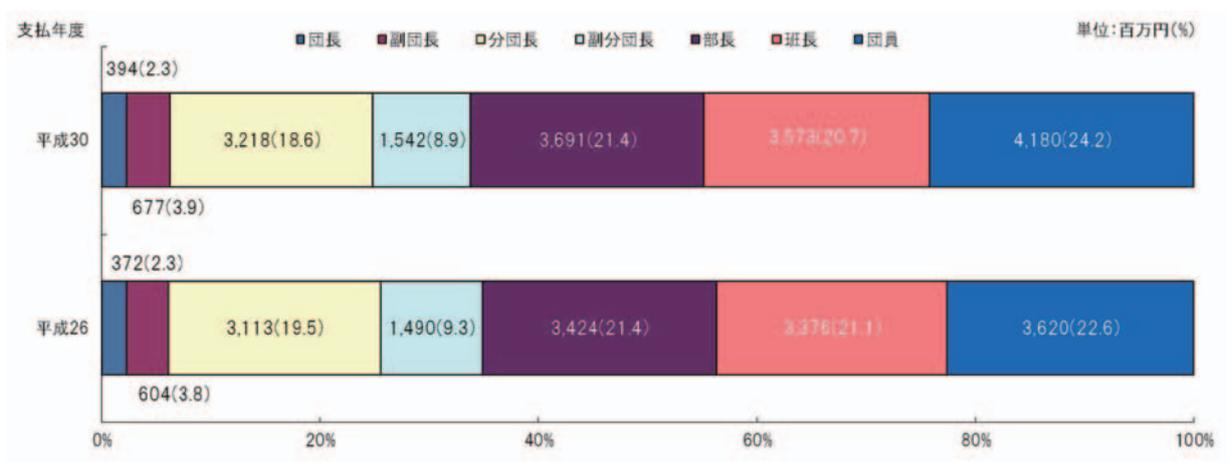


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の4,767百万円(27.6%)が最も多く、続いて「20年以上25年未満」の2,863百万円(16.6%)、「15年以上20年未満」の2,662百万円(15.4%)の順となってお

り、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の6割近くを占めています(図7)。平成26年度と比べると、30年以上の割合が増加傾向にあります。

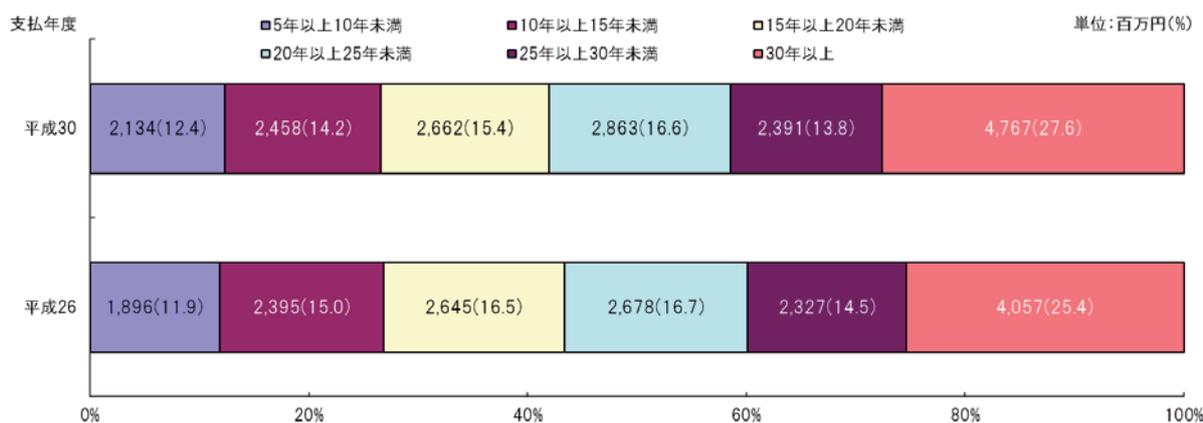


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の
12,413百万円(71.9%)に対し、「現年度退職者」

は4,862百万円(28.1%)となっています(図8)。

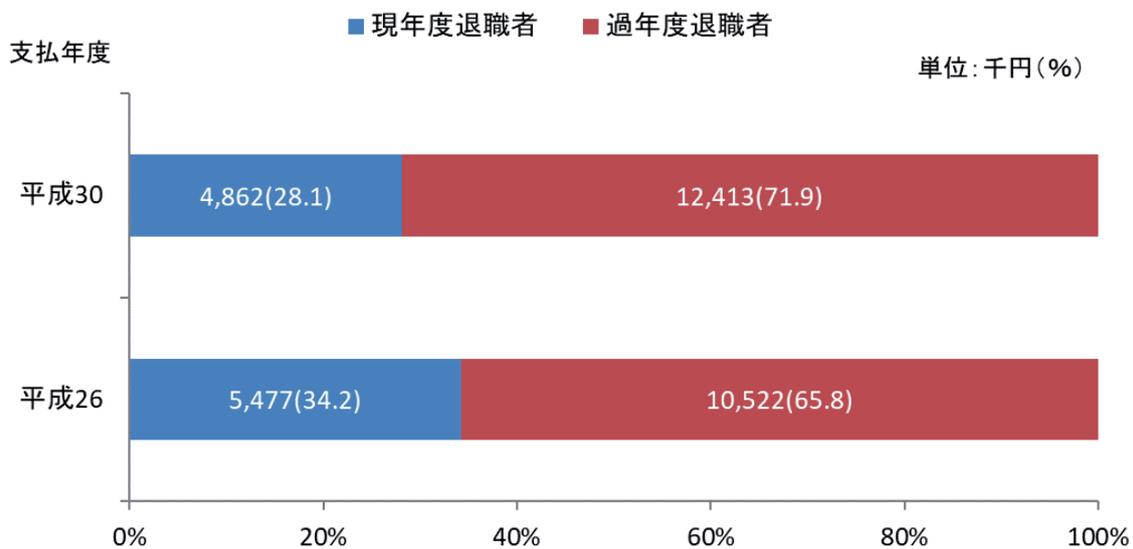


図8 現年度・過年度別支払額

注 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。